

ペンリレー  
“あずさ部部長として”

甲府21ワイズメンズクラブ 廣瀬 健

昨年7月にあずさ部長大野さん(東京西クラブ所属)から「よろしく」とバナーを引き継いでまもなく一年が経ちます。

あずさ部キャビネット、甲府21ワイズメンズクラブをはじめおかげさまで何とか一年が終わります。心より皆様に感謝申し上げます。

部長主題『未来はそれに備える人のものである』テーマに掲げワイズメンズクラブ最大重要課題である“会員増強”に力を入れ取り組んでまいりました。各クラブ訪問時にクラブ現状、活動内容と意義についていんなお話、卓話を通じ皆様と話し合ってきました。現在=未来、クラブの存続、成長時には先輩方に失礼な意見も多々あったと思います。ワイズ歴の短い私が意見をすることを最初はためらいましたが先輩方は快く意見を聞いていただきました。

東日本区キャビネット皆様、あずさ部キャビネット皆様、甲府21ワイズメンズクラブ皆様のご協力があったからこそ部長職ができたと思っております。感謝と共に有難うございました。

次期部長は松本クラブ 赤羽 美栄子さんです。私が出来なかったことを「よろしく」ですがあずさ部がますます元気に活躍できるよう頑張りたいと思います。微力ながら後方支援としてあずさ部キャビネットを支えていきたいと同時に私自身のワイズ活動を部長経験生かし行いたいと思います。ありがとうございました。



<長野クラブにて>

会員在籍者数	32名	(2019年5月末現在)
5月の出席率		
例会出席数	12名	
第二例会のみ出席	13名	
評議会のみ	1名	合計26名
26÷32=0.81	81%	

項目	ニコニコボックス	バザー収益金	クリスマスオークション	切手
目標値	250,000	50,000	50,000円	5,000g
5月の合計	0			
5月末迄累計	312,895	136,570	59,910円	1,250g
達成率	125.1%	273.1%	119.8%	25%

山梨YMCA便り  
“総決算の6月”

山梨YMCA 総主事 露木 淳司



6月になりました。各クラブの会長の皆様には一年間本当にお疲れ様でした。YMCAにとっても今月は年度の総決算の月となり、重要な会議が目白押しです。会計監査に事業報告、総会、評議員会、県への報告。そしてチャリティーランに夏休みプログラムの募集作業、さらに今年度は新会館建設

工事の準備も加わり、目が回りそうです。おかげさまで介護保険事業や児童発達支援事業が軌道に乗り、YMCAの事業規模は拡大しつつあります。職員も大幅に増えました。スタッフ一同丸となって日々を過ごしています。ただその分、運営面での課題や人間関係、施設管理などにおけるトラブルが増えています。大きくなればなったりの備えをしなければなりません。これからもワイズメンの皆様からのご指導が不可欠です。皆様のそれぞれの専門分野を活かしたご支援、そして資金面でのお支えを心より感謝申し上げます。5月から既に真夏日が始まって、今年度は暑い期間がとて長いものになりそうです。8月には恒例のフクロウキャンプを実施します。今年もご支援のほどよろしくお願い致します。皆様、健康にはくれぐれもご留意いただき、この夏を一緒に乗り切りましょう。

速報 大澤理事長が奈良傳賞 受賞 祝



日本ワイズメン運動創始者の一人で、戦前のワイズ担当主事、戦後初の日本区理事、国際副会長、初代日本区名誉理事として生涯をYMCAとワイズの発展のために尽くされた故奈良傳氏を記念して、1982年に創設された栄誉ある個人賞。令和元年6月1日東日本区大会において、山梨YMCA大澤英二理事長(甲府クラブ)が奈良傳賞を受賞されました。甲府ワイズとして、故平原メンに次いで二人目となります。





THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.  
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

山梨県甲府市中央5丁目4-11  
山梨YMCA青少年センター  
〒400-0032 TEL 055-235-8543  
FAX 055-235-8553

国際会長主題	: 私たちは変えられる	Moon Sang-bon (韓国)
アジア太平洋地域会長主題	: アクション!	田中 博之 (東京多摩みなみ)
東日本区理事主題	: 為せば、成る	宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)
あずさ部長主題	: 未来はそれに備える人のものである	廣瀬 健 (甲府21)
甲府21クラブ会長主題	: 世代を超えて、笑顔で奉仕	野々垣健五

甲府21ワイズメンズクラブ  
2019年6月会報  
強調月間  
評価

今月の聖句  
あなたの未来には希望がある、と主は言われる。(エレミヤ書31章17節)  
古屋 秀樹 選

会長挨拶  
～ 草津クラブ合同例会、盛会に感謝!! ～  
甲府21ワイズメンズクラブ会長 野々垣健五

5月24日、25日の草津クラブとの合同例会と懇親旅行にご参加の皆様、有難う御座いました。担当されたDBCの方々、奈良田、露木の両ドライバーにも感謝です。草津クラブから参加の9名の皆様とは良い交流の場となりました。

甲府21クラブの今後に向けて、30周年プロジェクトの佐藤委員長が「大きな組織の会社」で体得された経験、知識を基にしっかりしたプランを立て、実行するべく、知恵を絞ってくれています。

私の30周年に向けての個人的な見解です。今、「甲府」と結びついて世間一般に知られている名前を挙げてみると、サッカーのヴァンフォーレ甲府・大相撲の竜電関・お菓子の桔梗屋・シャトレーゼといった所になります。ワイズメンズでは、「甲府」から「日本のオンリーワン・ワイズメンズ」を目指したいものです。「オンリーワン」としては「徹底的にYMCA運動を支える。」「ワイズメンズ会員100名位、うちウィメン会員20名位で構成。」としたいものです。私の大好きな大学ラグビーでは、1軍の15名+8名をAチームとし、それを支えるB、C、D、Eの各チームがあり、100名～130名の所帯を構成しています。この様な組織構成を参考として議論するワイズメンズの状態を先々への目標として思い描いています。過去の年度から浮かび上がっている課題として、IBCがあります。山梨YMCAの福田奈理子主事から「タイ国」とのIBCが提案されます。しっかり話を聞いて研究し、検討していきましょう。



<あずさ部評議会にて>

● ～6月例会プログラム～ ●  
日時: 2019年6月4日(火) 19:00～  
会場: 山梨YMCA 青少年センター

- 司会: 赤根 学 刈 野々垣健五会長 一同
- ①開会点鐘
  - ②ワイズソング・ワイズの信条
  - ③今月の聖句と一言
  - ④会員スピーチ
  - ⑤会長挨拶
  - ⑥ゲスト・ビジター紹介
  - ⑦ハッピーバースデー
  - ⑧ワイズディナー
  - ⑨ゲスト卓話 山梨YMCA 語学国際事業ディレクター 福田奈理子氏

『バンコクYMCAをサポートするワイズメンズクラブの紹介』  
\*2019-2020年度事業計画の概要 荻野次期会長  
\*2019-2020年度委員会の分科会 各委員長  
⑩諸報告 野々垣健五会長  
⑪YMCAの歌  
⑫閉会点鐘 野々垣健五会長

**HAPPY BIRTHDAY IN JUNE**

6月誕生者		メネット	
野々垣健五	6月5日	赤根敦子	6月9日
寺田喜長	6月13日	廣瀬まさみ	6月11日
奈良田和也	6月16日	古屋律子	6月26日
山本敦夫	6月18日		

敬称略



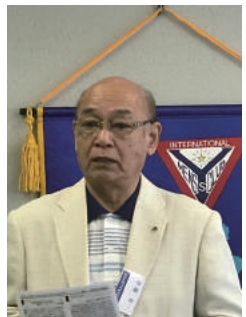
「5月草津クラブ合同例会報告」

甲府21ワイズメンズクラブ 寺田 喜長

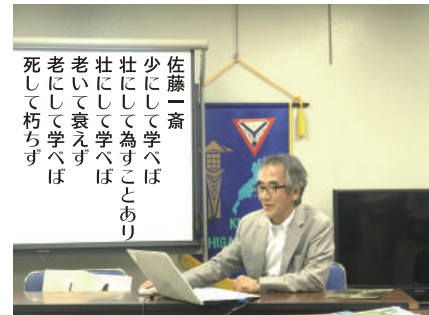
日時 2019年 5月25~26日  
会場 恵那文化センターほか  
◆2003年に DBC 締結以来 毎年交流を行って おります草津クラブとの合同



例会を、今年は当クラブがホストを務めました。今まではお互いのクラブ所在地を交互に訪問しておりましたが、初めての試みとして双方クラブから約180キロとなる中間地、岐阜県恵那市にて行いました。会場の恵那文化センターは中央道恵那インターの近くにあり、車でのアクセス条件が良く、予定時間より早くお互いのクラブが現地到着。「お久しぶり」の再会挨拶もそこそこに小澤公紀メンの司会にて例会を開催。葉袋メンはあるボランティア研修会にて始めた歩きを続け2万メートル以上歩いていると「徘徊」の原点を披露。又研修会で熱心にボランティア活動しようという若者がいることに気付いた、との会員スピーチ。今月の聖句は「詩編145編8節〜」を駒田メンが選ばれました。



「主は恵に富み」の冒頭を「私達」あるいは「私に」置き換えて考えてみてはどうでしょうか。野々垣会長の挨拶と新入会員の紹介、一井草津クラブ副会長の挨拶を頂き、ゲスト卓話は恵那市生涯学習課嘱託西部良治講師にて「恵那市の歴史探訪」と題し講義を頂きました。ほとんどの参加者が初めて学ぶ知らない土地の歴史、特徴を解りやすくお話下さり、もう少し時間を掛けてお聞きできたらと残念に感じました。講師



も交えて昼食をとり、その後学んだばかりの恵那市岩村にて古い城下町を探索、講師推薦のカステラ、清酒「女城主」を購入後、宿泊地の長野県飯田市へ移動、伊那谷を流れる天竜川の川下りにて波しぶき、赤ハヤ、トンビとの戯れを楽しみ、久米川温泉宿舎に予定時間に到着、女性に人気のアルカリ度の高いお肌ツルツル温泉にて疲れを癒し、日帰り参加の



●奈良田 DBC 委員長の司会で懇親会にて親睦を深めました。4月に入会された依田メンが5月生まれとして誕生祝を受けましたが同時に結婚祝も重なり会長より「薦かぶり」が記念品として贈呈されました。お二人とも下戸とは。当クラブでの結婚祝は記憶にございません。楽しく宴を終えた後



幹事の部屋にて二次懇親会を例年どおりに開催、本音のお話合いを致しましたがお互い年齢を重ねておるせいか早めにお開きとなりました。早寝のためか早朝4時頃より目覚めて乾杯されたご仁もいらしたとか。



2日目は元祖善光寺と言われている元善光寺にてお回廊めぐりをし、今日一日の無事を祈念、飯田市名物水引工芸



館にて学びました。昼食を水引工芸館の団体専用食堂にて頂きました。視察時に見た閑散としていた食堂が満杯なのは驚き。ここで合同例会を終了。それぞれ帰路につきました。関西特有のノリが何時もより少ないのではないかなと思いました。遠慮してましたか?と問ってみます。途中千畳敷カールに寄り道。予想に反し寒いどころか暑いぐらいの5月にしては異常な気温でした。何事もなく2日間の合同例会を楽しみました。会長及び担当者各位の細かい配慮に感謝。最後に二日間マイクロバスを運転して下さい。露木総主事に感謝致します。

●出席者、草津クラブメン7名、メネット2名甲府21クラブメン12名、メネット7名、ゲスト2名 合計30名



「第8回障がい者フライングディスク大会 in 郡内 報告」

甲府21ワイズメンズクラブ 米長 晴信



恒例の富士五湖クラブ主催の「障がい者フライングディスク大会」に寺田喜長書記とともに参加させていただきました。

天気予報は「雨」でしたが、選手の皆様の熱気とボランティアの皆様の日頃の行い?で無事屋外で開催する事ができました。いつもは小瀬スポーツ公園での大会に参加させていただいておりますが、郡内のこの会場は富士山の麓、大自然の中でのびのびと体を動かす事ができる素晴らしい環境でした。

「万歳隊」をつとめさせていただきましたが、入賞した選手の皆様の大はしゃぎで喜んでいる姿には感動を覚えました。何かを目指して努力し、結果を出して喜ぶ、という純粋な気持ちが自分に果たしてあるのかどうか考えさせられ、とてもいい学習をさせていただきました。

山の天候は急変します。ディスタンス競技のラストの組で急に暗雲が立ちこめ、雨が降り始めて止むなく中止。フライングディスク運営と学生ボランティアの皆様にとっても良く働いていただき、事故もなく終了しました。



アキュラシーゴールという「輪」を通す競技です。内径0.915m、地上から輪の下までは0.61mです。



アキュラシーは、標的の輪をめがけ、10回連続投げて通過した回数を競う種目です。競技用ディスクは、日本障害者フライングディスク連盟公認の「ファーストバックモデル」直径23.5cm、重量100±5gとする、となっています。因みにディスクは、距離を競うモノです。3回投げて、一番遠くへいったものをcm単位で計測します。



「ウズベキスタン報告」

甲府21ワイズメンズクラブ 奥水順雄

4月上旬、ヴァンフォーレ甲府アカデミーU16(高校1年生)のウズベキスタン遠征に同行しました。ウズベキスタンは中国の西、アフガニスタンの北にあり、人口3200万人の旧ソビエト連邦の国です。二重内陸国で、シルクロードの遺跡で有名です。日本からウズベキスタンへの直行便は、観光シーズンの春から秋までしか運航しておらず、我々の飛行機は今年最初の直行便(チャーター)でした。そのため、到着したサマルカンド空港では大歓迎を受けました。

翌日の地元クラブのアカデミーとの練習試合に向かうのに、ホテルからスタジアムまでパトカーの先導がありました。平日の午前11時キックオフにもかかわらず、1万人近い観客があり驚きました。開会式は国歌斉唱で始まり、サマルカンド市長、サッカー協会会長も臨席し、代表戦の雰囲気でした。ウズベキスタンは昨年のU23アジア大会で優勝をしており、サッカー熱は相当なものがあります。ちなみに、このアジア大会で日本代表は0対4で負けています。この後、タシケントに移動して練習試合・大会参加で4試合を戦いました。体力差が大きく、技術的にはヴァンフォーレの選手が勝っていても、大会では勝つことができませんでした。通算3勝(練習試合)2敗(大会)となりました。

ウズベキスタンは全てに広く、大きく、ゆったりしています。道路、家、ホテル、レストランなど。ソ連領で130年近くあったことも影響していると思われます。警察官がやたらと多く、街は安全です。官僚国家で上下下達の雰囲気。多民族国家で日本人に近い人から中東・ヨーロッパ系までいます。親日的な国で、街は清潔で日本人には心地よいです。ぜひ皆さんも一度訪問してください。

